

事業実施報告書

1 事業の名称

和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に

2 実施時期及び実施期間

平成 2 5 年 1 1 月 3 日(日)～平成 2 5 年 1 1 月 1 3 日(水) (1 1 日間)

3 実施場所

中国 四川省 樂山市	樂山師範学院(美術系専攻の学生・教師 60 名ほど)
四川省 成都市	四川老年大学 (中国画グループ 60 名ほど)
重慶直轄市	重慶師範大学(美術系専攻の学生・教師 60 名ほど)
江蘇省 南京市	南京双塘小学校 (南京市教育局美術課研究室に所属南京 中小学校の美術教師 60 名ほど) 金陵図書館中日交流の窓 (日本語を学ぶ中学生～大学 生・市民 60 名ほど)
浙江省 杭州市	中国美術学院(美術系専攻の学生 50 名ほど) 杭州市内 (中国画の画家グループ 10 名ほど)

4 実施主体

特定非営利活動法人 虹橋の会

5 事業の目的

- (1) 日本独特の和紙とちぎり絵を中国の人に知ってもらい、日本の伝統文化を広める。
- (2) 和紙とちぎり絵を紙の発祥地の中国各地で指導・宣伝、中国画の描き方を見学する事などを通し、互いの文化を尊重し学びあう精神の育成を図る。
- (3) 学校訪問等の活動を通じて、芸術交流だけでなく、両国民の平和交流を深める。
- (4) 帰国後、広島において日本人、中国人、中国帰国者が作った和紙ちぎり絵と中国画の展示会を行い、国境を超え、芸術が両国を結びつける活動を実施する。

6 実施内容

- (1) 中国への和紙ちぎり絵を広める活動として四川省 2 か所(樂山師範学院、四川老年大学)、重慶市 1 か所(重慶師範大学)、江蘇省南京市 2 か所(南京双塘小学校、金陵図書館)、浙江省杭州市 2 か所(中国美術学院、中国画家グループ)で延べ 360 名の方々に和紙ちぎり絵の紹介、指導及び今後の芸術交流について話した。

- (2) 四川省人民对外友好協会、重慶市人民对外友好協会、南京市人民对外友好協会、杭州市人民对外友好協会の幹部の方と和紙ちぎり絵を介した芸術交流の推進及び平和友好に関する意見交換を行った。
- (3) 和紙ちぎり絵の特徴や美しさを見てもらうことや、実際に作品を作ってもらうことを目的に、各実施団体へ和紙ちぎり絵の作品や教材のセットを寄附した。その他和風美術品（切り絵、くるみ絵、折り紙建築）と手作りの和風小物も贈って、交流を深めた。
- (4) 各実施団体において中国画の実演を見学し中国画の描き方を学習した。また、重慶師範大学において中国画の展示を見学、中国美術学院において中国画のみでなく油絵、書道その他の授業風景も見学した。
- (5) 日中両国の友好や平和について対話を行った。

7 参加人数又は派遣人数
5名（うち広島市民4名）

8 実施効果

- (1) 中国の美術専攻の大学生、美術教師、日本語を学ぶ中学生～大学生、定年後の老人と幅広い人に和紙ちぎり絵の紹介、指導を実施した。今回360人程度の人ではあるが、四川省、重慶市、南京市、杭州市においての普及活動を通し、和紙ちぎり絵が一つの芸術として受け入れられた。
- (2) 今回和紙ちぎり絵交流を通して、多くの中国の人と楽しい交流活動ができた。芸術交流をきっかけに、広島県と友好関係の四川省・広島市の姉妹都市重慶市をはじめ、訪問した各都市とも友好関係を築くことができ、日中の平和友好に少し貢献できた。
- (3) 日本語を学ぶ中学生～大学生との和紙ちぎり絵をきっかけにした日本語での交流活動を実施した。素直な中国の若者との交流は本当に有意義でした。日本への関心の高さが伺え、持参した広島紹介のパンフレットもあっという間になくなった。また各地で平和文化都市広島のパンフレット、広島、宮島の写真も持参し広島を知ってもらう活動が展開できた。
- (4) 各訪問先で中国画の作品を見せていただくとともに、描くところも見学させていただいた。それぞれが中国画の持っている素晴らしさを感じた。私達が中国画を学ぶことにより、こちらの文化を伝えるだけでなく、中国の文化を受け入れるという相互関係が芽生えた。
- (5) 今回の中国での活動を通し、中国の人々が本当に友好的で、親切であったことです。みんな平和を愛し、日中の平和友好を願う人々でした。今回私たちは、和紙ちぎり絵を通し、民間レベルでの芸術交流を行ってきましたが、このような活動が日中平和友好に本当に重要であるとの確信を得たことが一番の成果でした。

事業実施内容及び所感文

事業名：和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に

団体名：特定非営利活動法人 虹橋の会

実施時期及び実施期間：平成25年11月3日(日)～11月13日(水) (11日間)

実施内容：

日 程	場 所	交流・協力活動名	内 容
平成25年 11月4日 (月)	四川省樂山市 樂山師範学院	和紙ちぎり絵の紹介、 指導、 日中芸術交流	四川省樂山師範学院美術専攻の皆さんへ 和紙ちぎり絵指導、 中国画とちぎり絵等との交換会実施、 添付写真1参照
11月5日 (火)	成都市 四川老年大学	和紙ちぎり絵の紹介、 指導、 日中芸術交流、	四川老年大学の皆さんへ和紙ちぎり絵の 指導および芸術交流、 老年大学芸術家の中国画作成を見学し、 交流推進のための意見交換、 添付写真2参照
11月6日 (水)	重慶市 重慶師範大学	和紙ちぎり絵の紹介、 指導、 日中芸術交流	重慶師範大学の美術系の皆さんへの和紙 ちぎり絵の紹介、指導、 重慶師範大学の先生による中国画、書道 の作成風景を見学 添付写真3参照
11月9日 (土)	江蘇省南京市 南京双塘小学校	和紙ちぎり絵の紹介、 指導 日中芸術交流	南京双塘小学校で市内の美術教師のみな さんへ和紙ちぎり絵の紹介、指導を実施、 南京在住の芸術家の作品作成を見学 添付写真4参照
	金陵図書館	和紙ちぎり絵の紹介、 指導 日中平和友好活動	南京で日本語を学ぶ中、大学生に和紙ち ぎり絵の紹介、日本語による指導を実施、 「中日交流の窓」見学 添付写真5参照
11月11日 (月)	浙江省杭州市 中国美術学院	和紙ちぎり絵の紹介、 指導、 日中芸術交流、	中国美術学院での和紙ちぎり絵の紹介、 指導 中国美術学院授業風景見学 添付写真6参照
	浙江省杭州市 中国画グループ	和紙ちぎり絵の紹介、 指導 日中芸術交流	杭州中国画グループの人に和紙ちぎり絵 の紹介、指導 杭州芸術家の作品作成を見学 添付写真7参照 その他各地の友好協会との交流活動は、 添付写真8参照

所 感

和紙ちぎり絵を中国に紹介し、日中平和・友好関係を促進しようという虹橋の会の目的にそって、今回は四川省成都市・樂山市、重慶市、江蘇省南京市、浙江省杭州市に行ってきました。こちらは、広島県の一NPO法人ですが、昨年同様、中国側は省、市を代表して歓迎していただいた。

中国美術学院（杭州）は、中国だけでなく、国際的にも有名な芸術の殿堂です、この度我々の訪問を受けてくださったことはこの上もない光栄だと考える。

和紙ちぎり絵は日本独特のもので、初めての場所で受け入れていただけるかどうか心配であったが、美術系大学生、美術教師、日本語を学ぶ中学生から大学生、定年後の老人と幅広い中国の人に和紙ちぎり絵が受け入れられた。また和紙という異文化を受け入れようとする、情熱も強く感じられた。

今回和紙ちぎり絵交流を通して、多くの中国の人と楽しい交流活動ができた。芸術交流のみでなく、幅広い友好交流（音楽等）を中国側が切望されていることを強く感じた。また広島と同じように戦争で多くの犠牲者を出した南京では、草の根交流をされている南京在住の日本人荒川幸子さんを交え平和について語り合った。このような交流活動が盛んになれば、日中の平和友好に必ず貢献できるものと確信できた。

南京の金陵図書館では日本語を学ぶ小学生～大学生との日本語での交流活動を実施した。日本に対する憧れを持った中国の若者との交流は本当に有意義でした。ここには「南京中日交流の窓」があり、日本の書籍の貸し出し、日本文化の紹介等積極的に行われていた。ちょうど絵葉書の展示が行われおり、その中に宮島及び錦帯橋の絵葉書が数点あった。日本への関心の高さが伺えた。また各地で平和文化都市広島のパンフレット、世界遺産の宮島の写真等も持参し広島を知ってもらう活動が展開できた。

広島市との姉妹都市である重慶市では、市と市の交流は盛んであるが、民間レベルでの交流がまだまだであり、もっと民間レベルでの交流を進めたいとのお話を伺った。私達のような民間交流が重要であることを再確認できた。

和紙ちぎり絵は日本独自の文化とされていますが、もともとは中国から紙が伝わり、文化が伝わり、それが日本文化の基礎になっています。各地での話の中で、1200年前の鑑真和上をはじめ悠久の歴史の中で本当に多くの交流が行われ、日本と中国の文化は切っても切り離せないなど多くの話が出た。中国では失われたその当時の文化が、日本の奈良、京都では大事に保管されていることを感謝された。

また中国では今、空気も水も食品の安全にも問題があるとのお話があり、日本はどのように克服、解決してきたか関心を持たれていた。砂漠化防止のための緑化活動だけでなく、このような部分でも、日本人の知恵が発揮できる交流活動ができるものと感じた。

各地で中国画の作品を見せていただくとともに、描くところも見学させていただいた。日本から和紙ちぎり絵の紹介、普及するだけでなく、私達が現在行っている中国の伝統武術を広める活動に加え、中国画等を紹介、広めることにより、文化交流はもっと広がるものと感じた。

帰国後11月24日の朝刊では、中国に親しみを感じない人が8割を超えていることが書かれていました。今回の中国での活動を通し、最も痛感したのが、テレビ、新聞で見てきた中国と違い、今回会った中国の人々、町で見かけた中国の人々が本当に友好的で、親切であったことです。みんな平和を愛し、日中の平和友好を願う人々でした。今回私達は、和紙ちぎり絵を通し、民間レベルでの芸術交流を行ってしましたが、このような活動が日中平和友好に本当に重要であるとの確信を得たことが一番の成果でした。

写真-1



「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」

四川省乐山师范学院での交流風景

2013年11月4日(月)



写真-2



「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」

成都市 四川老年大学での交流風景

2013年11月5日(火)



写真-3



重慶師範大学での交流風景
2013年11月6日(水)

「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」

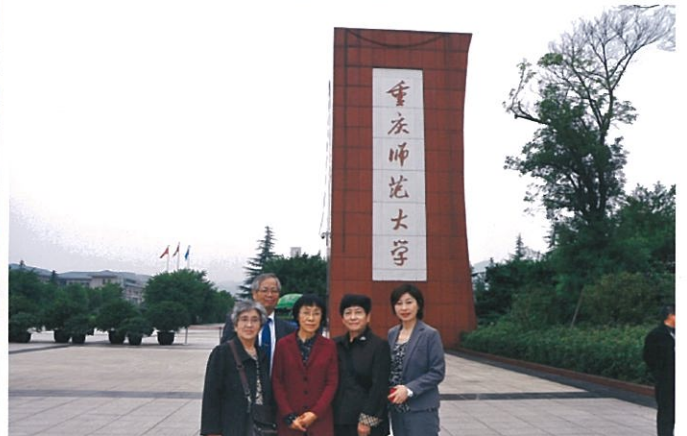


写真-4



南京双塘小学校での美術教師との交流風景

2013年11月9日(土)



「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」



写真-5



南京金陵図書館 日本語を学ぶ小、中学生～大学生の皆さんとの交流風景
2013年11月9日(土)

「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」



写真-6



「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」

杭州中国美术学院での交流風景
2013年11月11日(月)



写真-7



浙江省杭州市での中国画家の皆さんとの交流風景

2013年11月11日(月)



「和紙ちぎり絵で日中平和の架け橋に！」



写真-8



四川省人民对外友好協会前で

左から二番目の方が四川省对外友好協会

向 慈、花 亜非部部長

右端の方が 四川省对外友好協会

尹 平 さん



重慶人民政府にて对外友好協会の方との意見
交換会

右から三番目の方が重慶人民对外友好協会

周志剛 処長

左端の方が 重慶人民对外友好協会

楊任侠さん



南京にて、草の根交流をされている荒川幸子さん
他との平和友好の意見交換会

写真左、右から三番目の方が 南京人民政府外
事弁公室

孫 曼 亜洲処 処長

写真下左から三番目の方が

荒川幸子さん

